

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	運動学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎303
担 当 教 員	粕渕 賢志	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

人間の身体運動に関する基礎知識を学ぶことを目的とする。これまでに学習した運動器を中心とした解剖学や生理学等の知識に基づき、生体力学や運動器と神経系の構造と機能、反射と随意運動、関節運動などの身体運動を可能にしているメカニズムについて学習する

《成績評価の方法と基準》

期末試験にて記述試験を行う。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

『運動学 改訂第3版』/全国柔道整復学校協会監修/医歯薬出版株式会社

《授業外における学習方法》

次回の授業内容を告知するため、事前に教科書内容の確認をとること。

《履修に当たっての留意点》

受講にあたって予習、復習を十分に行うこと。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	運動学の目的 運動の表し方を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	各コマにおける授業予定	運動学の目的 運動の表し方		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	力、運動の法則、仕事とエネルギーを理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	各コマにおける授業予定	生体力学(力、運動の法則、仕事とエネルギー)		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	てこ、滑車を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	各コマにおける授業予定	生体力学(てこ、滑車)		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	骨、関節の構造と機能を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	各コマにおける授業予定	骨、関節の構造と機能		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	関節の分類、関節運動の種類を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	各コマにおける授業予定	関節の分類、関節運動		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	骨格筋の構造や筋収縮のメカニズムを理解する 骨格筋の構造と機能	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	筋収縮の様態と筋収縮に必要なエネルギーを理解する 筋収縮の様態とエネルギー供給		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	神経細胞、末梢神経、中枢神経を理解する 神経の構造と機能	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	感覚の種類、筋紡錘と腱器官を理解する 運動感覚		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	反射と随意運動のメカニズムを理解する 反射と随意運動(反射)	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	反射と随意運動のメカニズムを理解する 呼吸の運動生理を理解する 反射と随意運動(随意運動) 運動生理(呼吸)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	循環・代謝の運動生理を理解する 運動生理(循環・代謝)	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	肩関節を構成する関節の構造と関節運動を理解する 肩関節の運動学(肩関節複合体の構造、関節運動)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	肩関節の筋の機能を理解する 肩関節の運動学(筋機能)	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	肘関節、前腕の構造、関節運動、筋の機能を理解する 肘関節と前腕の運動学(構造、関節運動、筋機能)		